

令和 2 年 7 月 1 日現在

機関番号：11301

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K13818

研究課題名（和文）異なる会計制度が経営者の意思決定に与える影響に関する研究

研究課題名（英文）A study on the influence on management's decision making under different accounting systems

研究代表者

黄 耀偉 (WONG, YIUWAI)

東北大学・経済学研究科・助教

研究者番号：00772021

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,700,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究の成果は複数の研究発表による数理モデルの構築である。その結果、会計制度が経営者の意思決定にどのような影響を与えるかを明らかにできた。より明確的に述べると、税務申告の利益と財務会計の利益の差を比較的に許さない確定決算主義の下では、会計情報の情報価値が高くなる。一方、確定決算主義をもちいると、分離方式のときより会計的業績が比較的に悪くなるので、経営者に対する業績連動報酬は低くなる結果を得た。これは、確定決算主義をもつ日本の経営者報酬がアメリカやヨーロッパより低いことも説明できている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義として、この研究テーマではデータを使った実証研究が主流で、研究の成果はある程度蓄積されてきたが、数理モデルを使って、経営者に影響を与える要因を分析する研究がないことから、研究成果の補完はこの研究の学術的意義である。また、社会的意義として、この研究では、確定決算主義と分離主義が会計情報の価値に与える影響をある程度分析できたと考えるので、本研究の設定では、確定決算主義をもちいたほうの会計情報の価値が高いので、この研究結果は制度設定にも貢献できると考える。

研究成果の概要（英文）：The main result of this research is to investigate the influence on management's decision making under different accounting systems. Especially, I investigated how the degree of book-tax conformity affects managers' compensation contracts and earnings management activity by using theoretical approach. There are several empirical studies about the effects of book-tax conformity on the usefulness of accounting earnings, but the existing literature on the impact of book-tax conformity on earnings management presents ambiguous results. Further, there are few studies that have examined the relationship between the degree of book-tax conformity and managers' compensation contracts. This study focuses on this research gap. The main findings of the study are as follows: book-tax conformity prevents managers from engaging in earnings management activity as well as some production activities; and the expected utility of the principal decreases with the degree of book-tax conformity.

研究分野：分析的会計研究

キーワード：税務会計 利益調整

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

研究開始当初の背景として、実務では国際会計基準(IFRS)の適用の議論が盛んでいた。また、2019年6月末時点で199社の上場企業がすでにIFRSを任意適用し、16社の上場企業がIFRSを任意適用する予定と発表した。IFRSの導入効果について、Christensen et al.(2007)、Armstrong et al.(2010)は、IFRS導入企業の異常超過リターンが生じることから、IFRS導入によって、会計情報の品質が改善されることが投資家に期待されると解釈した。アメリカと日本企業を対象にした研究し、同じ結果を得た(Joos and Leung (2013)、譚(2014))。一方、IFRSの任意適用を選択可能としたとき、企業は異なる会計基準を選択できることになる。とくに、日本のように、確定決算主義を重視する国とそうでない国によって、企業の経営者の行動も分かると考えられるため、研究をする必要がある。確定決算主義が企業の経営者の利益調整行動に関する研究について、Atwood et al. (2010)は確定決算主義の程度と企業の利益持続性についてグローバルデータを用いて実証分析したところ、確定決算主義の程度の高い国の企業は利益とキャッシュフローの持続性は低くなる。それは、確定決算主義の程度が高くなると、経営者の利益調整行動が抑制されると解釈した。また、Watrin et al. (2014)はヨーロッパ諸国のデータを用いて、確定決算主義の程度と経営者の利益調整行動の分析を行ない、確定決算主義の高い国の企業は低い国の企業より利益を下方に調整することを証明した。実証研究では、確定決算主義と経営者の利益調整行動に関して、一定の成果があるものの、確定決算主義がどのように経営者の利益調整行動に影響を与えるかを明らかにする数理モデルが必要だと筆者が考え、研究を開始した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、数理モデルを用いて、税率が異なる場合、財務会計と税務会計における会計基準が異なることによって企業の経営者の税務申告・財務報告意思決定に与える影響を理論的に明らかにすることである。異なる申告システムのもとで、企業の経営者の税務申告・財務報告行動に影響を与える要因を数理モデルを用いて理論的に明らかにすることによって、これから、日本の財務会計報告システムと税務申告システムの設計に対する貢献ができると考えている。また、本研究では、数理モデルのみならず、各国のデータを用いた実証、実験研究を用いて、報告利益と申告所得の差異および企業のシステムや個人の属性が経営者の脱税行動に与える影響を明らかにする。

3. 研究の方法

本研究数理モデルを用いて、税率が異なる場合、会計基準が異なることによって企業の経営者の税務申告・財務報告意思決定に与える影響を理論的に明らかにすることである。モデルの整合性を保つため、さまざまな研究会にて発表したり、会計学分野で数理モデルを用いて研究されている研究者の方々と議論を重ねたりすることが必要であり、より整合性と合理性が保てるモデルを構築していきたい。また、実証・実験研究の部分について、日本のみならず、世界各国のデータを用いて、税率と業績主義など属性が企業の経営者の脱税行動に与える影響を明らかにする。そのために、Bloombergをはじめ、世界各国のデータを入手可能なデータベースを活用しようと考えている。

4. 研究成果

これまで3年間において、本研究の実績は、7回の研究会発表による数理モデルと実証モデルの改善である。この中に2回の海外発表が含まれている。これらの発表によって、より明確な設定に変更でき、数理モデルから有意義な分析結果を得られた。また、実証研究の改善について、数理モデルで得た分析結果を個別企業のデータを用いて、分析する予定であったが、国別の分析のほうが良いというアドバイスをもらったので、頑健性テストとして、追加するようにした。主な分析結果として、本来会計利益と課税所得の差異が少なければ、会計情報の情報価値が高くなり、それにつれて経営者に対する業績連動報酬が高くなるはずであったが、本研究の分析結果では、ある条件のもとで、会計利益と課税所得の差異が少なくても、経営者に対する業績連動報酬は低くなる結果を得た。これは、確定決算主義をもつ日本の経営者報酬がアメリカやヨーロッパより低いことも説明できている。本研究の主な分析はすでに終わり、現在は海外の学術誌に投稿する

最終段階に入っている。今年度中に投稿する予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計7件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 Wong Yiu Wai
2. 発表標題 Book tax conformity, earnings management and compensation contracts
3. 学会等名 31st Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黄 耀偉
2. 発表標題 Book tax conformity, earnings management and compensation contracts
3. 学会等名 第85回分析の会計研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 WONG YIU WAI
2. 発表標題 THE IMPACT ON FINANCIAL REPORTING SYSTEM TO ACCOUNTING FRAUD AND TAX EVASION.docx Paper_THE IMPACT ON FINANCIAL REPORTING SYSTEM TO ACCOUNTING FRAUD AND TAX EVASION
3. 学会等名 The Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黄 耀偉
2. 発表標題 Managerial incentives for earnings managment, tax planning and book-tax conformity
3. 学会等名 分析の会計研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黄 耀偉
2. 発表標題 Managerial incentives for earnings management, tax avoidance and book-tax conformity
3. 学会等名 分析的会計研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 WONG YIUWAI
2. 発表標題 確定決算主義による会計報告と税務申告の選択効果
3. 学会等名 分析的会計研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 WONG YIUWAI
2. 発表標題 Research about tax avoid and earnings management
3. 学会等名 分析的会計研究会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------	---------------------------	-----------------------	----